

町長といどばたトーク！内容・概要

会場	意見等	回 答	返答者	担当課
高浜(8/3 9:00-10:30)				
1	断水が続き、年老いた母の世話が大変だった。大都会で起きたらどうなっていたらどうか。			
2	発災直後、町は整然としていたことに驚いた。秩序が守られていたように見える。			
3	区民を避難させるのに苦心したが、普段から実施している避難訓練が役立った。			
4	家庭災害ゴミの受入れ区分が変更され、非常に混乱した。(家具を壊して持参したらダメと言われた。)	町から指示はしていない。現場と調整する。(事業者が偽って持参する場合有り。)	環境	環境安全課
5	発災当初、大阪に居た。帰省して悲惨な状況に愕然とした。現在は仮設住宅に居るが、災害公営住宅に入居したい。			
6	最初に集会所に避難して近所の人たちの有難さを実感した。人との絆の力が大切。	多くの方々から支援を受けてここまで来れたと思う。感謝している。	町長	環境安全課
7	日頃から家族で話し合い、準備をしておくことが重要。			
8	非住家への支援がない。公費解体は可能なのになぜか。法律なのか。	支援金制度は、今住んでいる方の生活を支援するものである。非住家は生活の本拠地ではない。法で定められている。	町長	環境安全課
9	技術系(重機オペレーター)ボランティアを導入すべき。ボランティアが入りやすい体制を作るべき。	技術系ボランティアは入っているが、事前にネットワークがあれば良かったと思う。今後は協力体制を構築したい。	町長	環境安全課
10	応急修理制度に申し込んでも業者がこないため、進まない。期限の延長等は早く伝えて欲しかった。	先日、応急修理制度の改正があり、申請済みの場合、工事完了期限は、当面設けない予定とのこと。	まち	まち整備課
11	罹災判定に不平等感がある。迅速に出来なかったのか。被災情報を保険業者から提供してもらったり、ドローンを使って個々の被災を把握してほしい。	保険業者から情報を得て、罹災判定の判断材料に利用することは無理である。	副町長	
12	高浜地区の空き地を放っておくのは無策だと思う。中心部である高浜地区がこのような状態になることは心配。	点在した個人所有の土地は取得できない。空き地を含めた区画整理も難しい。現在起きている中心部のドーナツ化現象は、都市部でも生じている。	町長	総務課長
13	石川サンケン志賀工場撤退による町の対応は。	石川サンケンは、社員の転職を外部の専門事業者に委託している。町も情報共有いただくこととなっており、雇用について協力して支援していきたい。	町長 副町長	商工観光課
14	議員の災害時の役割は何か。	町民の声を町政に届けること(梢)。委員会や一般質問で、集約した住民の声を伝えている(小林)。	町議会 議員	議会事務局

町長といどばたトーク！内容・概要

会場	意見等	回 答	返答者	担当課
15	しか第2団地で春に死者が出た。何度も要請したのに、町長はなぜ手を合わせに来てくれなかったのか。	仮設での死亡については把握していたが、お参りの要請は直接受けていない。 町では、仮設・自宅の分け隔てなく、亡くなられた方のご遺族等に対し、お悔み状を出し、弔慰としている。	町長	総務課 8/4 本人が言い過ぎたと詫びに来庁した。(総務課対応)
16	公費解体の順番を変えられないのかと聞くと、役場から自費解体にしてくれと言われた。	確認する。	環境	環境安全課 →関係者に確認したが、そのような受け答えをした事実はなかった。
17	こんな話より、夢を語る会でないといけない。	全員納得		